

TOKAI

東 海 防 衛 だ よ り

2020
令和2年

春

明野駐屯地航空祭



陸上自衛隊 新多用途ヘリコプター XUH-2

東海防衛支局の取組等／東海3県の自衛隊の動き

- ◆ 米軍再編に係る訓練移転 明野駐屯地へのオスプレイの飛来
- ◆ 豊川市スポーツ公園（2期工事）
- ◆ 自衛隊記念行事における政策広報活動
- ◆ 令和元年版 防衛白書（日本の防衛）
- ◆ 愛三岐の街から ～愛知県 春日井市～

東海3県の防衛産業・技術基盤

- ◆ (株)豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー 高浜工場

米軍再編に係る訓練移転 明野駐屯地へのオスプレイの飛来

令和元年12月1日から同月13日までの間、饗庭野演習場（滋賀県）、国分台演習場（香川県）において、陸上自衛隊（第13旅団）と米海兵隊（第3海兵師団）との実動訓練（フオレストライト）が実施されました。本訓練は、日米それぞれの指揮系統に従い、連携強化及び共



明野駐屯地に駐機するオスプレイ

同対処能力の向上を図ることを目的としたものです。

さらに、本訓練には、普天間飛行場に所在する米海兵隊のMV22オスプレイの訓練移転も組み込まれており、日米共同訓練の効率的な実施と航空機の整備等の様々な要素を勘案し、日米間で調整した結果、明野駐屯地（三重県）をMV22オスプレイ

の整備拠点として、饗庭野演習場や国分台演習場において離着陸訓練等を実施しました。東海防衛支局では、三重県の方々に速やかにMV22オスプレイに関する情報をお伝えするため、明野駐屯地内に現地対策本部を設置し、関係自治体に情報提供を行うと共に、同本部に連絡窓口を開設して、報道機関や住民からの問合せに対応しました。



現地対策本部の様子

また、明野駐屯地におけるMV22オスプレイの離着陸時の騒音状況を把握するため、同駐屯地周辺において当支局職員による騒音測定を実施しました。



騒音測定の様子



問い合わせ対応中の当支局職員

豊川市スポーツ公園（2期工事） （サッカー場・ソフトボール場・多目的広場等）



豊川駐屯地
等周辺

防衛省では、防衛施設の設置・運用により、その周辺地域の住民の生活又は事業活動の障害が認められる場合において、その障害を緩和するため、地方公共団体が行う施設の整備などに対して補助金を交付しています。

陸上自衛隊豊川駐屯地、豊川千両（ちぎり）及び豊川日吉原（ひよしばら）両演習場に関連する民生安定助成事業として、豊川市が実施するスポーツ公園の整備に対し、平成20～30年度までの間に約6億3600万円の補助金の交付を行い、平成24年3月には1期工事として野球場や芝生広場等の整備が、平成31年3月には2期工事としてサッカー場、ソフトボール場や多目的広場等の整備がそれぞれ完了しました。

当該施設は、万一の災害時には住民等の避難場所になるとともに、地区防災活動拠点として、自衛隊、警察や消防などの救援隊の集結が可能な施設としても利用されることとなります。

「防衛施設周辺対策事業」とは、自衛隊等の行為または防衛施設の設置若しくは運用により生ずる障害を防止または軽減するための事業です。



豊川市ご当地キャラクター



豊川市担当者の声

平成23年度に完了した1期工事に引き続き、平成29年度からサッカー場、ソフトボール場、多目的広場等といった2期工事の公園整備に着手、平成30年度に整備が完了後、天然芝の養生を経て、令和元年10月1日に公園をオープンすることができました。

オープン以来、多くの方々に利用していただいております。また、災害時には地区防災活動拠点としての利用も可能となりましたので、とても感謝しております。

自衛隊記念行事における 政策広報活動

防衛省・自衛隊の活動は、国民一人一人の理解と協力があって初めて成り立つものであり、分かりやすい広報活動を積極的にに行い、国民の信頼と協力を得ていくことが重要です。

東海防衛支局では、自衛隊の創立記念行事などの際に、防衛省・自衛隊の取組などをご理解いただくための施策として、政策広報活動を実施しています。

昨年11月には、下記の記念行事において施設内に特設ブースを設け、支局の広報誌や防衛省のパンフレットの配布等を行いました。

また、子供達には、防衛省・自衛隊に興味を持ってもらえるよう戦闘機等のオリジナル缶バッジを配布しました。



オリジナル缶バッジ



特設ブースに訪れる来場者（小牧基地）

政策広報活動を行った行事

施設	開催日	行事	主催者発表による来場者数
陸上自衛隊 明野駐屯地	令和元年 11月3日	明野駐屯地航空祭	約 22,000人
航空自衛隊 小牧基地	令和元年 11月9日	小牧基地オープンベース	約 61,000人
航空自衛隊 岐阜基地	令和元年 11月10日	岐阜基地航空祭	約 65,000人



AH-1S等による飛行展示（明野駐屯地）



駐機するブルーインパルス（小牧基地）

令和元年版 防衛白書（日本の防衛）

令和元年9月27日、令和元年版防衛白書が閣議で了承されました。

防衛白書は、わが国防衛の現状と課題及びその取組について広く内外への周知を図り、その理解を得ることを目的として毎



年刊行しており、令和元年版で刊行45回目となります。

わが国を取り巻く安全保障環境は、かつて想定していたよりもはるかに速いスピードで厳しさと不確実性を増しております。特に顕著な変化は、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域の軍事利用が急速に拡大し

ていることです。近年の技術革新により、これらの領域は陸・海・空という従来の領域と並ぶ重要性を持ち始めました。

今回の防衛白書では、巻頭に「新たな防衛計画の大綱」と題した特集記事を設け、新防衛大

綱が示す安全保障環境や防衛体制の強化について、写真や図表も用いて説明しております。また、本編では、新防衛大綱と新中期防の全体像を詳しく記述するとともに、コラムによる解説記事を活用し、ご理解を深めていただけるよう努めました。

さらに、平成の時代における防衛省・自衛隊の動きを振り返ることができるよう、「平成の防衛省・自衛隊30年の歩み」と題した巻頭特集記事も設けましたので、ぜひお楽しみいただきたいと思えます。

当支局は、愛知県、岐阜県及び三重県をはじめ、東海3県内の約50市町村等を訪問し、防衛白書の説明を行いました。



大村愛知県知事（右）



防衛省ホームページ
(防衛白書)

<https://www.mod.go.jp/j/publication/wp/index.html>



平木岐阜県副知事（右手前）



鈴木三重県知事（右手前）

「愛三岐の街から」



愛知県

春日井市

かすがい



伊藤 太 春日井市長

【さらに一歩先を行く
「暮らしやすいまち春日井」】

春日井市は、鉄道や高速道路など恵まれた交通アクセスのもと、積極的な都市基盤整備を進めることで快適な住環境を築き、人口31万人を超えるライフタウンとして発展してまいりました。当市は、緑あふれる自然共存都市であり、市の北部から東部にかけて400m前後の山地が連なり、市の中心地から30分ほどで豊かな森林が広がります。また、市の中央部に位置する落合公園は、「日本の都市公園100選」の1つにも選ばれた緑豊かな総合公園で、七色の色彩にライトアップされる噴水や日本

最大級の「フォリー・水の塔」があり、桜の名所でもあります。また、市北部にある内々神社は、その創建は古く、907年にまとめられた「延喜式神名帳」にも記載されている由緒ある神社であり、権現造の社殿と廻遊式林泉型の庭園は愛知県の指定文化財で、一見の価値があります。令和元年11月には、農業体験や収穫体験を通して、楽しく「農」に触れることができる農業公園



落合公園「フォリー・水の塔」



あい農パーク春日井

「あい農パーク春日井」を開園しました。

市では、「子はかすがい、子育ては春日井」宣言や「文化・スポーツ都市」宣言を行い、子どもから高齢者まですべての皆様が、心の豊かさやあたたかさを感じる事ができるまちづくりに取り組んでいます。今後、さらなる暮らしやすさの充実に取り組むステーションとして、朝宮公園の多目的総合運動広場の整備、高蔵寺ニュータウンの再生などを推進するとともに、地域活動や文化、スポーツなどの様々な活動を支援し、「暮

らしやすさ」に「生きがい」という付加価値を加え、本市の魅力を一層高めてまいります。

【自衛隊との関わり】

春日井市は、市民の皆様の安全安心のため、防災関係機関との相互協力体制の確立や、防災意識の向上に取り組んでいます。自衛隊の皆様には、水防訓練における土のうを利用した工法訓練や総合防災訓練における人命救助訓練等、災害時における実践的な訓練にご協力いただいております。



総合防災訓練

株豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー 高浜工場

「物流の最適」を通じ豊かな生活をサポート

株豊田自動織機の高浜工場（愛知県高浜市）は、株豊田自動織機の社内カンパニーであるトヨタL&Fカンパニーの工場です。1970年に操業を開始しました。東京ドーム約8個分の広さを持つ世界最大級の物流機器専門工場で、工場内で設計・開発から生産までを一貫して行っています。また、国内及び世界各国のサービス拠点に補給部品を発送する部品センターを備えています。



高浜工場外観



けん引車(左上) と フォークリフト(右下)

●高い信頼があるフォークリフト
トヨタL&Fの「L&F」はロジスティクス&フォークリフトの略です。フォークリフトとは、車体前部のフォークを用いて荷物の積み降ろしや運搬をする車のことです。トヨタL&Fでは、海外を含め11の拠点で年間約28万台を生産し、世界中の物流ニーズに対応しています。

●世界及び国内で充実のサービス体制
サービス体制については、国内では、業界最多の40販売店・281営業拠点・240サービスショップを設置しております。また、世界でも100以上の国と地域に販売・サービス網を持ち、迅速で、きめ細かいサービスは、世界で活動する防衛省にとって安心感があります。

●物流を支える先進技術と提案力
フォークリフト事業に加え、1986年に物流システム事業（現在の物流ソリューション事業）に参入しました。

具体的には、小型から大型までの高度な技術による無人搬送車や自動運転フォークリフト、自動倉庫等の製品を扱うほか、独自のトヨタ生産・物流方式（TPS*）の考え方に基づく、物流現場の改善提案、大規模な物流センターの構築・運営など、多様かつ高度な物流課題の解決ニーズに対応しています。さらに、2017年には物流システムを手掛ける海外企業2社をパートナーに加え、グローバルでの物流ソリューション提案力の強化を図っています。

* TOYOTA PRODUCTION SYSTEM

●品質を支える高度な技能
株豊田自動織機のトヨタL&Fカンパニーでは「世界で勝ち残れる技能集団づくり」をスローガンに、工場内に様々な職種の技能道場を開設し、技能者の育成を行っています。

特に溶接職種では、23歳以下を対象とした技能五輪にも挑戦をしています。これまで、全国大会では金メダル9個、銀メダル22個、銅メダル23個を受賞し、全国大会の金メダリストが出場できる国際大会（奇数年に開催）では銀メダル1個、銅メダル2個を受賞しています。

「モノづくりは、人づくりである」。この言葉は、トヨタグループにおける人材育成の理念です。高度な技能とTPSに基づく改善マインドを持った人材育成を通じて、高品質な製品の提供を継続して行い、「物流の最適」を通じて豊かな生活をサポートしています。その高い技能等で防衛省・自衛隊の物流及び航空機の運用等にも大きく寄与しています。



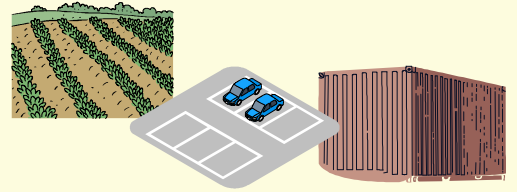
技能五輪の様子

周辺財産（移転補償跡地）の個人・民間に対する有償使用許可のご案内

各務原市に所在する航空自衛隊岐阜基地（岐阜飛行場）の周りには防衛省所有の土地が点在しています。今年度から、土地の有効活用のため、個人や企業の方々に対して有償による貸付（使用許可）ができることになりました。

駐車場や物置、畑などに利用でき、簡易な建物も設置することができます。

対象となる土地や利用の流れなど、詳細は東海防衛支局のホームページをご覧ください。下記までお気軽にお問い合わせ下さい。



東海防衛支局ホームページ 「基地周辺住民の皆様へ」




<https://www.mod.go.jp/rdb/tokai/oshirase/O1siyoukyokagoannnai.pdf>

お問合せ先／施設補償管理課 052-952-8224



自衛隊地方協力本部からのお知らせ

地方協力本部（地本）は、各都道府県にある自衛隊の総合窓口です。

<p>愛知地方協力本部 （電話）052-331-6266 https://www.mod.go.jp/pco/aichi/</p> 	<p>●「自衛隊広報ルームへ、ご招待♪」 自衛隊の写真パネルや模型、実物大の装備品などを展示している楽しいスポットです。自衛隊グッズがゲットできるイベントDAYもありますので、ぜひ遊びに来て下さい！</p>
<p>岐阜地方協力本部 （電話）058-232-3127 https://www.mod.go.jp/pco/gifu/</p> 	<p>● 防衛省自衛隊広報センター「自衛館」 自衛隊のパネルや「親子プラモデル教室」で作成されたプラモデル、装備品の模型などを展示している楽しいスポットです。ぜひ遊びに来て下さい♪</p>
<p>三重地方協力本部 （電話）059-225-0531 https://www.mod.go.jp/pco/mie/</p> 	<p>● 各種イベントや自衛隊に関する情報を紹介！ 各種SNS (Twitter、Facebook、Instagram)も随時更新中！ 詳しくは、ホームページでお待ちしています。</p>

自衛官等募集案内

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
自衛官候補生	18歳以上 33歳未満の者	年間を通じて行っています。	受付時にお知らせします。	合格発表は試験日にお知らせします。

詳しい情報は、最寄りの自衛隊地方協力本部へお気軽にお問い合わせください。

新着任者紹介



次長（装備）
1等陸佐 北村 清孝
令和元年12月1日

令和元年12月1日付で東海防衛支局次長を拝命した北村です。当支局が管轄する東海3県には、多くの防衛施設や防衛生産・技術基盤が所在しています。

我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、特に自衛隊の活動に必要な装備品の開発、生産等において、この地域の重要性はますます大きくなっています。

今後とも、地域の皆様の御理解と御協力をいただけるよう、微力ながら尽力する所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

